



第2回市議会  
定例会が開会

補正予算など  
12議案を審議

第2回市議会定例会は、6月4日に開会されました。

この日、会期を6月15日までの12日間と決めた後、人事案件2件を先議。教育委員会委員に堀哲也氏(再任)を任命することに同意し、次いで、人権擁護委員候補者に木曾義尚氏、野村昭子氏、高橋和子氏の3人を再任、河合早苗氏、福田榮一郎氏の2人を新任する推薦案に同意しました。

その後、平成24年度一般会計補正予算、駅前広場等管理条例の制定、請負契約の締結など10議案が一括上程され、小川市長が提案理由を説明しました。

各議案は担当委員会で審査のうえ、最終日の本会議で採決される予定です。議決された議案は、本紙7月1日号でお知らせします。

なお、節電対策のため、本会議など市議会のすべての会議において、クール・ビズが10月31日まで行われます。

全国市議会議長会表彰の伝達

6月4日、定例会の開会前に全国市議会議長会の表彰の伝達があり、次の方に表彰状が手渡されました。

<特別表彰>

議員25年以上 林 新太郎 議員

「かがやき教育週間」始まる

大垣市長 小川 敏



近年、少子化や核家族化が進み、共働き家庭も増えているため、親子でふれあう時間が減少するなど、家族の結びつきが弱くなっています。また、自治会加入率も減少傾向であり、地域とのつながりやふれあいも希薄になっています。

かつて、子どもたちは、親の後姿を見て育ち、地域の人々に見守られながら、成長しました。家庭や地域に「教育力」というものがありません。

大垣は、古くから教育に力を入れている「文教のまち」であり、現在も、「子育て日本一」を掲げ、教育に重点を置いています。

そこで、今年度から、6月の第3日曜日の前の1週間を「かがやき教育週間」とし、「家族でふれあい学びあひ深めあう」を合言葉に、期間中、家庭・地域・学校などと連携しながら、14の事業を行います。学ぶ機会を提供し、教育に対する興味・関心を高め、家族や地域の絆も深めていければと思っています。

同週間の初日となる6月10日には、立命館大学教育推進開発機構の陰山英男教授を講師に迎えた「教育シンポジウム」を開催し、保護者など約1200人の皆さんにご参加いただきました。また、最終日となる17日まで、奥の細道むすびの地記念館や大垣城など9つの文化施設は、高校生以下の子どもを同伴していれば、大人も無料で入館できます。

この週間にきつかけに、家族・地域とのふれあいや、教育の大切さを見つめ直していただければと思います。



JAXAとの連携授業 (江東小学校)



「ぎふ清流大会」サッカー競技のリハーサル大会 (浅中公園総合グラウンド)



のっぺ汁のふるまい (総合体育館)

リハーサル大会も順調に開催！

9月29日に開幕する「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」まで、まもなく100日――。

市内では、国体6競技、大会2競技、デモスポ2行事が行われます。

6月3日には、「ぎふ清流大会」(第12回全国障害者スポーツ大会)の卓球とサッカー一競技のリハーサル大会が開催。熱戦が繰

り広げられるなか、市民ボランティアの皆さんによる受付案内・競技補助・のっぺ汁のふるまいなどのサポートにより、大会の運営は円滑に行われました。

準備作業やリハーサルも、終盤を迎えています。みんなで力を合わせ、素晴らしい国体・大会にしましょう。

【国体の軟式野球競技・リハーサル大会】

天皇賜杯第67回全日本軟式野球岐阜県大会

とき：6/30(土)～7/2(月)

ところ：北公園野球場

※雨天順延あり



出場チーム紹介

東海自動車学校野球部は、昨年の天皇賜杯全日本軟式野球岐阜県大会や中部都市対抗軟式野球大会でも優勝するなど、数々の大会に出場し、輝かしい成績を残しています。

21人の部員は、全員が自動車教習の指導員。仕事と練習を両立しながら、「元気・気力・気迫」をモットーに、チームの強化を図ってきました。主将の岩田崇選手は「優勝はもちろん、大会を通してチーム力の向上を目指したい」と、抱負を述べてくれました。



東海自動車学校野球部

昭和40年「岐阜国体」パネル展

昭和40年開催の「岐阜国体」のパネル展が開かれます。47年前の様子をぜひ、ご覧ください。

◆とき/6月21日(木)～7月10日(火)

◆ところ/市民病院1階中央廊下